

酒々井町郷土研究会々報

第43号

昭和62年1月1日
発行
酒々井町郷土研究会
総務部



頌春

元日

新年にあたって

相京晴次

新年おめでとう御座います。郷土研究会も創立から十一年目を迎えることになりました。昨年度は、十周年記念の文化展を開催いたしました。多くの反響をうけました。が、本年はさらに新しい意欲をもって、郷土研究会の本来的使命である郷土文化の向上、文化財愛護、郷土の歴史、地理の勉強を通じての新旧会員の親睦を図って行きたいと念願しております。

郷土研究会の事業もややマン

ネリ化した感をうけるようになりましたが、今後は会員各位の新しい視点からのご意見をどんどんお寄せ下さるようお願いいたします。

事業の具体的な施策は会員各位の御意見を参考として、役員会に於いて立案実施することになっておりますので、会発展のためよろしくお願いたします。

郷土研究会の会員分布を見ますと、最近では東酒々井、中央台地区の新住民の方々が多くなっております。旧地区としては、酒々井、中川、トヶ崎、大崎など街道沿いに多く、新旧住民の融和は順調

年頭に思う

沖田善三郎

郷土研も早いもので昨年のためたく十周年を迎えました。思えば殆ど相京会長におんぶした活動だったように思います。

十年一昔と申しますが、郷土の状況も年々変わって参ります。昔の良さを残して地域開発を進めるといふ事は至難の事でしょうが、やはり自然あつての人でありますから、少しでも良い環境を残すことが大切だと思います。又、歴史的風土は子供たちの人格形成の上でも大きな影響を持つものではないでしょうか。先般郷土研の有志で、茂原市郊外の「ひめはるせみの里」を見学して参りましたが、八幡池という用水池と八幡神社の森の国指定の「ひめはるせみの棲息地」といふ環境を生かし、入り

に進んでいると思われませんが、本佐倉、馬橋、墨、尾上、飯積、柏木地区の農村部に少ないのが目立ちます。郷土研究会の趣意が全町に普及されるように、この地区の会員の増加に意をつくした



込んだ谷津に菖蒲園と大きな温室を設け、室内に鳥や猿を放し飼いにしてありました。周囲の山裾は遊歩道になっており、池では釣人が糸を垂れているといった景観で、土地で採れた野菜や自家製のおでんを農家の人達が売っております。わが町の本佐倉城跡は中世千葉氏の本城として、百余年間続いた貴重な史跡ですが、「ひめはるせみの里」のような環境で残せたら

素晴らしいだろうと思ったりしました。郷土研も発足当時に比べ会員の方々も多士済々です。これからは今更にと又違う新しい観点に立つた皆様方の御指導の程よろしくお願いたします。

文化展を終えて

会田 秀雄

旧年十月十八日・十九日の両日催された文化展に際しましては、委員及び役員の方々の一方ならぬご協力にまわり、又、皆様方からも減多に見られない珍しい品々を出品して頂いて、盛會裡に終了出来ました事を心より御礼申し上げます。

又当日は二五〇余名の方々がお出かけ下さりありがとうございました。これも一重に郷土愛に燃える皆様方のお陰と思えます。今後共よろしくご協力の程お願い致します。終りに皆様のご健康とご繁栄をお祈り申し上げ御礼にかえさせて頂きます。

十周年記念

文化展について

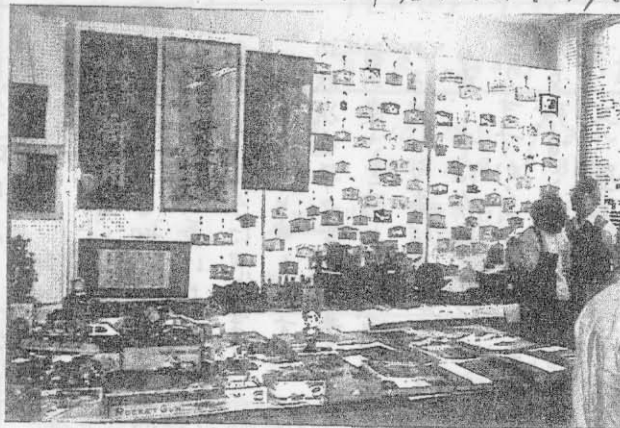
福田照子

十月十八・十九日の二日間に行われた文化展は、酒々井に生まれ住んで居ても、目にすることもできなかった品がたぐいさん展示され、「何処の家にこの様な昔の物が...」「あら、これは知っている」と等と珍しい品や古文書の数々に、唯感心してのことばかりでした。

先日、中川の青木さんより、この文化展を開催される迄の裏話を伺いましたが、会員全員に十周年の記念品を配布す



お休み処・郷土研屋の自称看板娘たち? もう二十年若かったら!の声しり。



展示品殺到で、うれしい悲鳴。

る形式では予算面が駄目、では別の形で、あれは駄目、これは駄目。役員さんの何回にも渡り検討の末、この様な文化展にまで運ばれた事を知りました。又出品物の搬入・搬出も大変な御苦労であったが、私も十九日一日でしたが、お手伝いさせて頂き、役員さん達のお骨折りが、身にしてみました。と同時に、今迄お膳の前に座るだけの私でしたが、この文化展を通じて、人と人の繋がり、暖かさを感じました。これからも、お世話になりながら、会員として、今日迄知らなかった、この町の歴史や文化を勉強して行きたいと思えます。

役員の皆様どうもありがとうございました。



「ホー、珍しい!」
「まあ、なつかしい!」
さまざまなお声がかかれた展示室

酒々井町じゆうの
貴宝・名宝・迷宝
珍宝がせいぞろい。

会計報告

袋田方面-泊見学会)

収入	支出		
予約金 5,000	幹事料 6,000		
お礼状 12,000	入場料 37,200		
その他 17,000	お茶代 25,000		
計 34,000	お弁当代 30,000		
	お土産代 2,000		
	計 103,200		
残金 23,491円	計 103,200		

県内見学会)

収入	支出		
会費 2,000 x 95 = 186,000	幹事料 6,000		
当日お礼 5,000	入場料 37,200		
計 191,000	お茶代 25,000		
	お弁当代 30,000		
	お土産代 2,000		
残金 48,000円	計 143,000		

郷土研日誌

月日	内容	出席者数	月日	内容	出席者数
10月4日	史談会 佐倉真佐子と読む会	15名	11月9日	石仏調査	5名
10月5日	文化展 準備委員会	13名	11月13日	袋田方面-泊見学会	63名
10月17日	文化展 会場づくり、展示品搬入	13名	11月20日	県内見学会 A班 千葉和197-動物公園	33名
10月18日	郷土研10周年記念文化展	250名	12月3日	" B班 "	33名
10月21日	文化展終了後の会場整理及び展示品搬出	6名	12月6日	史談会 佐倉真佐子と読む会	7名
11月1日	史談会 佐倉真佐子と読む会	12名	12月10日	県内見学会 C班 千葉和197-動物公園	29名
			12月20日	役員会 事業計画審議	19名

郷土研行事案内

62年1月~3月

<p>総会</p>	<p>1月24日(土) 議事</p> <ul style="list-style-type: none"> 61年度事業報告・会計報告 審議承認 62年度事業計画・予算案 役員改選 議事終了後文化映画上映予定 <p>午後1時 受付 午後1時30分開会 中央公民館講堂</p> <p>62年度会費受付(年額) ￥1,000円</p> <p>七草粥を食べる会 申し込み受付</p> <p>県内見学会 申し込み受付 予約金 ￥500円</p> <p>町史編さん室では会費の受け付けができませんので、総会当日には是非お納め下さい。</p>
<p>役員会</p>	<p>1月17日(土) 午後1時30分 総会準備 中央公民館</p>
<p>文化財愛護</p>	<p>午前9時 — 上岩橋貝層、横穴古墳草刈清掃(現地集合) 3月29日(日) 午後1時 — 伊篠松並木、保護清掃(雨天中止) 代替 4月5日(日)</p>
<p>県内見学会</p>	<p>2月 20日(金) A班 27日(金) B班 各班 38名</p> <p>(コース) 御成街道提灯塚—金光院—お茶屋御殿跡—長柄ふるさと村(昼食)—報国寺—鷲山寺—酒々井</p> <p>(出発) 午前8時30分 中央公民館前 (申し込み) 1月24日 午後1時より(総会当日) 中央公民館講堂入口 (会費) ￥3,000円 (予約金) ￥500円 (申し込み以後のキャンセルは返金できません)</p> <p>美しいお庭を見ながら、おいしい会席弁当をいかにいただきます。 (キャンセル) 出発日1週間前までに、お申し出下さい。 (キャンセル受付) 会田香雄 宅</p> <p>注意 町史編さん室ではキャンセルの受付はできません。連絡は必ず「会田宅」にして下さい。</p>

	1月	2月	3月
史談会	休	1日(土) 午後1時30分 中央公民館 佐倉真佐子を読む会	7日(土) 午後1時30分 中央公民館 佐倉真佐子を読む会
石仏調査	休	2日(日) 午前9時 中央公民館集合 雨天 資料整理	1日(日) 午前9時 中央公民館集合 雨天 資料整理
野草の会 名勝探訪	18日(日) 午前8時 21日(水) 京成酒々井駅集合 (コース) 日本橋—白木名水—迷子(3石) 日録田館—おし場跡—高札場跡—三浦安針邸跡—小伝馬町草跡—元も原玄治店跡 (雨天中止)	14日(土) 午前11時 中央公民館 七草粥を食べる会 (足員) 60名 (会費) 500円 (受付) 1月24日(土) 総会当日受付 会費は14日にいただきます	8日(日) 雨天代替 15日(日) 午前9時 青年研研修所前 (勝蔵院わき) 本佐倉城跡とその付近の探訪(雨天中止) (弁当とお茶を持参下さい)

見学会案内
江戸から佐倉まで(一)
日本橋から西馬込に乗り、京成酒々井から西馬込に乗り、江橋下車、日本橋まで二、三百メートルです。この辺は家康が城を築いた時、最初に町割りをした所で、国や都の指定文化財がたくさんあります。郵便発祥の地、白木名水、迷子のしるべ石、国指定重要文化財の日銀旧館、さらし場跡、高札場跡、道路元標、魚河岸跡、三浦安針邸跡、十軒店跡、長崎屋跡、時の鐘跡、小伝馬町草屋跡、吉田松陰記念碑、元吉原玄治店跡などが続いていますので、ゆつくりと歩けるだけ、まわれるだけ見学しましょう。

県内見学会 2/20(金) 2/27(金)

御成街道 徳川家康が鷹狩りに通った街道
お茶屋御殿跡 東金街道の將軍御休息所跡
金光院 中世の両界曼陀羅と武蔵式板碑がある。

報国寺 真言宗のお寺で重文の鎌倉初期の
鷲山寺 阿弥陀坐像と珍しい梵鐘がある。
元禄十六年の大津波で被災した人の
ふるさと村 美しいお庭を見ながら、おいしい
会席弁当をいただきます。

編集後記
会員の皆様、明けまして御目出とう
ございます。
昨年は盛り沢山の行事にご参加いただき
ありがとうございました。中でも初秋から初冬にわたつ
た町中が体育、文化、産業等々の精華
を競い合った時に我が郷土研も十周年記
念事業の文化展を開き、盛会でありま
した。そのとき、茶葉接待の郷土研茶屋
で、赤だすきに前掛け姿のあったことを
思い出していただけますか？ 余談はさてお
き、本年もまた良く学び、良く遊び、(夢)を
追って、ハッピーホーイにしてしま
いましょう。